

令和 6 年度 事業報告書
社会福祉法人齐慎会 本部



社会福祉法人 齐 慎 会

〒438-0026 磐田市西貝塚 2111 番地 1

<http://www.saishinkai.or.jp>

1 法人概要

法人名称 社会福祉法人 斉慎会（平成 14 年 2 月 28 日設立）

主たる事務所 〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚 2111 番地 1

理事長 早野 雄二郎

理事 南 貴 晴 早 野 いく子 野 崎 正 蔵
山 崎 俊 洋 小 川 正 信 成 田 将 史

評 議 員 大 石 和 男 後 藤 秀 雄 杉 田 誠
寺 田 俊 之 大 場 正 子 青 木 勝 良
小 杉 憲 司 森 正 明

監 事 名 波 公 彦 山 本 和 弘

事業の種類 1. 第一種社会福祉事業
(1) 特別養護老人ホームの経営
2. 第二種社会福祉事業
(1) 老人短期入所事業の経営
(2) 老人デイサービスの経営
3. 公益を目的とする事業
(1) 居宅介護支援事業

2 基本理念

1. 尊厳を守りその人らしさを尊重します

一人ひとりが人としての尊厳をもち、安心してその人らしい生活を送ることができるよう、その人らしさを受け止め、常にご利用者の立場に立って信頼と納得の得られる良質なサービスを提供します。

2. 充実した活力のある生活となるよう援助します

その人の持っている能力や知識・経験の活用を図るとともに、環境の整備や適切な援助による趣味や文化・社会活動への参加支援など、その人にとって幸福で充実した生活、生きる楽しみと明日への希望がもてるような生活を目指して創意工夫に努めます。

3. 地域福祉の推進に努めます

施設は、社会資源として地域に還元し、保健・医療・福祉関係分野との連携を図りながら、地域福祉の推進拠点として多様なニーズに対応し、地域に暮らす人々が地域で支えあい共に生きる福祉文化の発展に貢献します。

3 基本方針

1. 5 S（整理・整頓・清掃・清潔・接遇）を推進しよう
2. ご利用者が「どうしたいか」「どう思うか」を基準にして考えよう
3. ご利用者の満足を追求しよう
4. 専門性を磨き、常にサービスの質と量の向上を目指そう
5. 地域の人々と共に地域福祉の向上に努めよう

4 法人運営の状況

厚生労働省の推計によると、2040 年度には全国で約 272 万人の介護職員が必要とされるようになるの見込まれているところ、12 月 25 日に公表された「介護サービス施設・事業所調査」の結果によると、令和 5 年 10 月 1 日時点の介護職員数は 212.6 万人、その前年度と比べて 2.8 万人の減少となったと報道されました。介護職員を継続的に増やしていくことが社会的に強く求められているなか、介護職員数が初めて減少に転じたことは、介護業界に大きな衝撃を与えました。そのような中、令和 6 年度の介護報酬改定が実施されましたが、改定率はわずか 1.59%のプラス、うち 0.98%が介護職員等の処遇改善分とされました。介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ加算の 3 加算が一本化され、新たに介護職員等処遇改善加算を創設、令和 6 年度に 2.5%、令和 7 年度に 2.0%のベースアップへとつながるよう加算率を引き上げたとされています。新しく創設された処遇改善加算を使ってどのように処遇改善を行うかは各事業所の判断に委ねられますが、当会は処遇改善が一時的なものではないことを示すとともに、若年層の処遇改善を重点的に実施することを目的として、給与規程の給料表を一部改正致しました。高卒の初任給を例にとれば、1 万 5 千円の本給引き上げとなり、介護施設の賃上げではあまりみられない大幅な引き上げになったと思います。とはいえ、介護職員の給与水準は他産業との比較において相当低く現在もとても十分なものとは言えません。今後も引き続き賃上げに向けた経営努力を継続していかなければなりません。また、介護人材確保のためには働きやすい職場づくり、環境の整備が欠かせませんが、今回の介護報酬改定で示されているもう一つの方向性がロボット・センサー・ICT の活用による介護現場の生産性向上です。介護の現場において生産性向上という言葉はやや違和感を覚えますが、厚生労働省の生産性向上ポータルサイトでは、生産性向上を「一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける」という介護現場の価値を重視し、介護サービスの生産性向上を「介護の価値を高めること」と定義しています。生産性向上の目的のとりえ方は様々ですが、例えば整理整頓により物を探す時間を短縮することで利用者とのコミュニケーションの時間を増やすことも生産性向上です。そのようなとりえ方は、利用者について新しい発見をしたり、仕事の意義を再認識するなど、自らの仕事へのやりがいや楽しさを実感し、モチベーションを向上させることにつながります。当会では、従来から ICT 機器やロボット、センサーの活用を積極的に進めてきましたが、今期も入浴支援機器の増設や移乗支援機器の新規導入など、更なる生産性の向上に向けた介護機器等の導入を推進しました。介護サービスの利用者の重度化・増加やニーズがより多様化していく中で業務を見直し、人材など限られた資源を効率的に活用して一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける、また改善で生まれた時間を有効活用して、利用者に向き合う時間を増やしていければと思います。また、介護保険制度では虐待防止の取り組みが義務化されましたが、逆に利用者から職員に危害を加えられたり、セクハラなどのハラスメントを受けることや、職場における職員間のセクハラやパワハラなど、権利擁護に関

連して様々な課題が出てきています。職場環境の問題でもあることから、新任職員研修等を活用し虐待防止とともに就業規則やハラスメント防止規程等の周知を行い、法人としてハラスメントには厳正に対処するという姿勢を示しています。

また、人材確保対策の一つとして外国人材の活用を検討しておりましたが、掛川地域人材育成協同組合を通じてフィリピンからの技能実習生を受け入れることを決定し、令和6年6月5日、現地とオンラインで面接を行い4名の採用を決定しました。現地において入国前研修を行い、10月に技能実習計画の認定、令和7年1月下旬に来日して静岡市の研修機関において入国後研修を受けた後、3月から各拠点において技能実習が始まっています。4人とも明るい人柄で前向き、熱心で、真面目に取り組んでいることからこれからの成長が楽しみです。技能実習生が人員配置基準に参入できるのは6カ月が目安となることから、それまでに最低限の業務が一人で履行できるように指導・育成してきたいと思います。

介護サービスを適切に提供できるよう法人として人材確保の施策を実践するとともに、社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとして介護に関する実習や体験学習等の受け入れを積極的に行うなかで、地域においてトラブルの多い利用者いわゆる困難事例の方の支援を行っています。困難事例の解決策は、主に支援者の社会福祉援助技術のスキルや力量向上に求められますが、困難をもたらす要素は単一ではなく複合的で地域住民等の意識なども踏まえてトータルに問題を把握して対応していかなければならず、社会福祉事業の担い手として多様化するニーズに対する職員のスキルアップの重要性は増しているため、人材確保とともに人材育成にも引き続き注力して参ります。

人手不足、物価高騰など社会福祉施設の経営を取り巻く環境はここ数年加速度的に厳しさを増しているところ、介護現場では新型コロナウイルスの感染者がたびたび発生し、感染対策による更なる経費の増大、稼働率の低下による収入の減少を招き、収益性は低い状況が続いていますが、公益性と非営利性を持つ社会福祉法人としてサービスの質には影響が出ないように予算を管理し効率的な運営を心掛け、社会福祉法人による低所得者の利用料軽減事業も継続して実施しています。新型コロナウイルス対策のため5月の定例理事会及び定時評議員会については、決議省略とし書面による開催としましたが、今後も引き続きガバナンスとアカウンタビリティを実践し地域の皆様に信頼される社会福祉法人を目指して参ります。

5 重点施策

1 経営基盤の強化とサービス向上の取り組み

- ① 予算の進捗管理を行い財政状態の把握に努めました
- ② 監事による内部監査を実施し会計状況等の確認を行いました
- ③ 事業継続計画（BCP）の点検を実施しました

2 地域における公益的な取り組み

- ① 低所得者に対する利用料軽減事業を継続しました
- ② 地域の福祉ニーズを把握し、困難事例の対応に努めました
- ③ 福祉教育、体験学習、実習生、ボランティア等の受け入れを行いました
- ④ 地域のサロン活動を支援しました

3 人材の確保と職員の健康増進

- ① 外国人技能実習生の受け入れを開始しました
- ② 給与規程を一部改正し職員処遇を改善しました
- ③ ハラスメントの防止対策を周知しました
- ④ 最新の介護ロボット、ＩＣＴ機器の情報収集に努めました

6 運営実績

1 会議関係

(1) 評議員会

日 時	審議事項等
令和 6 年 6 月 25 日 (火) (決議省略)	(1) 審議事項 ・ 令和 5 年度収支決算書（計算書類・財産目録の承認）について (2) 報告事項 ・ 令和 5 年度事業報告書について

(2) 理事会

開催日	主な審議事項
第 1 回 令和 6 年 6 月 4 日 (火) (決議省略)	(1) 審議事項 ・ 令和 5 年度 事業報告(案)及び収支決算(案)について ・ 評議員会への提案について ・ 運営規程の一部改正(案)について ・ 令和 6 年度 嘱託医契約の承認について (2) 報告事項 ・ 監事監査の結果について ・ 令和 5 年度予算の予備費支出について
第 2 回 令和 6 年 10 月 22 日 (火) 15:00 開会	(1) 審議事項 ・ 令和 6 年度第一次収支補正予算(案)について ・ 職員紹介採用（リファラル採用）規程(案)について ・ 評議員欠員に伴う後任候補者選任(案)について ・ 評議員選任解任委員会の招集(案)について (2) 報告事項 ・ 理事長の職務執行状況報告について
第 3 回 令和 7 年 3 月 25 日 (火) 15:00 開会	(1) 審議事項 ・ 令和 6 年度 第二次補正予算(案)について ・ 令和 7 年度 事業計画(案)について ・ 令和 7 年度 当初予算(案)について ・ 給与規程の一部改正(案)等について ・ 就業規則の一部改正(案)及びメモリアル休暇規程の一部改正(案)について ・ 育児・介護休業等に関する規程の一部改正(案)について ・ 西貝の郷 吹抜等外壁補修工事について ・ 西貝の郷 ナースコール、電話設備更新工事(案)について ・ 西之島の郷 空調設備更新工事(案)について ・ 令和 7 年度 業務委託等契約(案)について ・ 評議員選任候補者(案)及び評議員選任解任委員会招集(案)について

	・外国人技能実習生の受入れについて ・西貝の郷 ボイラー更新工事(案)について (2) 報告事項 ・理事長職務執行状況報告について ・実地指導の結果について
--	--

2 監事監査

開催日	監事名	記 事
令和 6 年 5 月 15 日 (水)	名波監事 鈴木監事	決算監査（会計監査、「監事のための監査チェックマニュアル」 社会福祉法人社会福祉協議会発行（改訂第 8 版）による）
令和 6 年 9 月 27 日 (金)	名波監事	西貝の郷期中監査（預金通帳残高照合、月次試算表、現金出納 帳、小口現金出納帳、各種伺い書等確認、他）
令和 6 年 10 月 22 日 (火)	山本監事	令和 6 年度第 2 回理事会出席
令和 6 年 12 月 11 日 (水)	名波監事	西之島の郷期中監査（預金通帳残高照合、月次試算表、 現金出納帳、小口現金出納帳、各種伺い書等確認、他）
令和 7 年 3 月 25 日 (火)	名波監事	令和 6 年度第 3 回理事会出席

3 情報公表

公表事項	公表方法
事業報告書	事務所備え置き、ホームページ
決算関係書類	事務所備え置き、ホームページ、財務諸表電子開示システム
現況報告書	事務所備え置き、ホームページ、財務諸表電子開示システム
定款	事務所備え置き、ホームページ
役員報酬基準	事務所備え置き、ホームページ
事業計画書	事務所備え置き、ホームページ

4 その他

年月日	項目	記 事
令和 6 年 4 月 1 日 (月)	新任職員入職式	新規学卒 5 名・一般採用 5 名
平成 6 年 4 月 1 日 (月) 平成 6 年 4 月 2 日 (火)	新任職員合同研修	新規学卒 7 名・一般採用 5 名
令和 6 年 7 月 4 日 (木)	磐田市社会福祉法人連絡会	理事 1 名

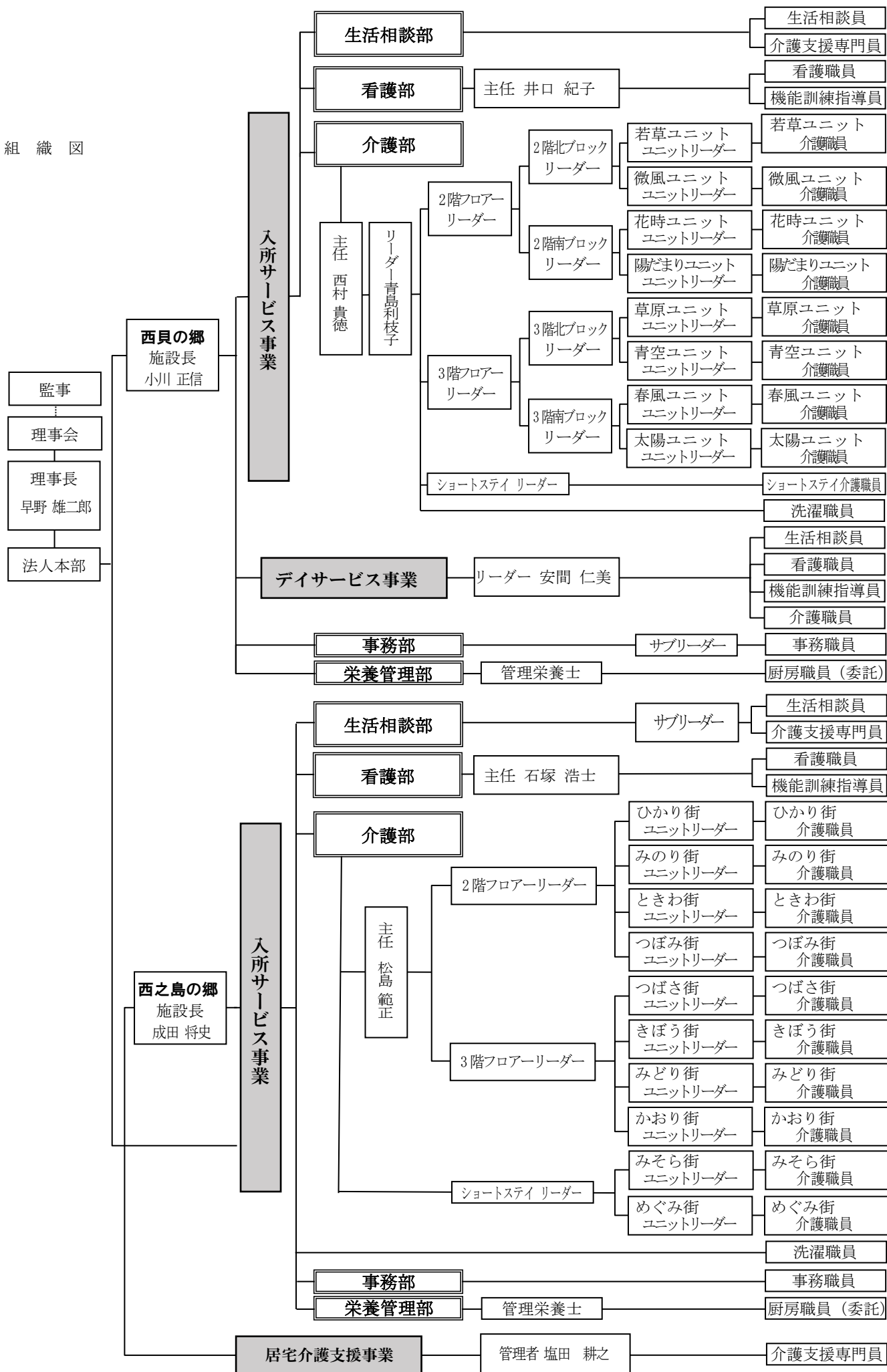
7 借入金償還

令和 6 年度の機首借入金残高は、1 億 80 万円です。今期の返済額は元金 3 千 360 万円、利息 201 万 6 千円、財源の内訳は償還補助金が元金助成 57 万 3,150 円、利息助成 14 万 6,936 円、残金は介護報酬をもってこれに充当しました。

(単位：円)

拠 点 区 分	西之島の郷	
借 入 先	福祉医療機構	
期 首 残 高	100,800,000	
当 期 償 還 額	元 金	33,600,000
	利 息	2,016,000
	計	35,616,000
当 期 償 還 補 助 金 額	元 金	573,150
	利 息	146,936
	計	720,086
期 末 残 高 (うち1年以内返済予定額)	67,200,000 (33,600,000)	
返 済 期 限	2027 年 2 月 10 日	
備 考	利率 2.0%	

組 織 図



令和6年度 西貝の郷 事業報告書

特別養護老人ホーム西貝の郷
短期入所施設西貝の郷
デイサービスセンター西貝の郷

1 施設概要

施設 の 名 称 特別養護老人ホーム西貝の郷

所 在 地 〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚 2111 番地 1

設 置 認 可 日 平成 14 年 12 月 20 日

事 業 の 種 類

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西貝の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276700181
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西貝の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276700181
	定 員	10 名
3	事 業 所 名	デイサービスセンター 西貝の郷
	介護保険事業種別	指定通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号事業
	事 業 所 番 号	2276700181
	定 員	40 名（土曜日は 15 名）

2 施設の運営状況

西貝の郷の特別養護老人ホームのご入居者の年間の退居率は、例年 25%から 35%程度で推移していましたが、令和 6 年度の退居率は 52.5%と定員の半数を超える過去に例のない数字となりました。一方で、特養の待機者数は平成 27 年度の制度改正以降激減しており、ご入居者の重度化により入院も増えているため、令和 6 年度は入退居や入退院の調整のための医療機関との連携や、重度の入居者への支援とりわけ医療的な対応を多く求められる 1 年でした。退居が増えた原因の一つに、新型コロナの影響があります。5 類以降、新型コロナウイルスの脅威はすでに過去のものという風潮が感じられますが、令和 6 年度もたびたび新型コロナの流行は発生しており、西貝の郷の各事業所でもご入居者・ご利用者のコロナの感染がたびたび発生しました。コロナは弱毒化し致死率も下がったといわれているものの、高齢者では基礎疾患の有無に関わらずコロナ感染をきっかけに体力が落ちて食事量が減っていき、帰らぬ人となることが稀ではありません。令和 6 年 11 月下旬に発生した特別養護老人ホームでの集団感染では、発生から終息まで約 1 月、患者総数は 27 名（ご入居者 18 名、職員 9 名）でしたが、ご入居者のうち 4 名は感染が確認されてからおよそ 1 月程度で残念ながら息を引き取られることになりました。特養、ショートステイではこの 5 年間、毎年 1 回程度の頻度で集団感染が起こっていますが、コロナ感染をきっかけに体力を落とされていく方が一定数いらっしゃるため、感染者が発生した場合は 5 類以降前と同様の感染対策を実施していましたが、それでも命を落とされる方をゼロにすることはできませんでした。また、コロナが 5 類感染症となって市中のマスクの着用率が下がった影響か、今冬はコロナに加えインフルエンザやノロウイルスなどの感染症も市中で流行していました。幸い、施設はどの事

業所においてもコロナ以外は集団感染までには至りませんでしたが、感染症の種類によって予防や対策が異なる部分もあり、また職員が感染すれば欠員での運営になるため職員の業務負担は増加します。感染症が介護施設に与える影響は今でも小さくはなく、業務の負担となっています。

ところで、令和6年度は介護報酬の改定があり、そこで①地域包括ケアシステムの進化・推進、②自立支援・重度化防止に向けた対応、③良質な介護サービスの確保に向けた働きやすい職場づくり、④制度の安定性・持続可能性の確保、という4つのポイントが示されました。西貝の郷は、令和6年度の運営方針に介護保険制度改正への対応とそれに伴う介護サービス内容の見直しを第一に掲げて4つのポイントに沿った取り組みを行ってきました。特養では、国から示された医療との連携の強化の求めに沿って、嘱託医が所属するハートセンター磐田と協力医療機関の契約を締結し、施設との連携方法の定期的な確認やご入居者に関する情報の迅速な提供など情報共有の強化に努めました。また、ご入居者の重度化や退居者の増加もあり、看取りの介護の質の向上に向けて嘱託医との連携とともに内部研修の充実やデスカンファレンスなど看取り介護のPDCAサイクルの充実に努めました。同時に、新しいLIFEへのデータ提供とフィードバックデータの確認、新たに標準サービスに組み込まれた口腔衛生管理の取り組みなどを開始するとともに、すべてのサービスにおいて虐待防止の取り組みとして虐待防止・権利擁護委員会による不適切ケア削減に向けた活動や、認知症ケアの向上に向けて認知症介護指導者による内部研修の実施と無資格の職員全員に認知症基礎研修を受講させ、行動障害のあるご入居者・ご利用者にはカンファレンスを行い職員間で統一的なアプローチを行うなど、認知症ケアの充実に取り組みました。

その他、特養では介護現場の生産性向上の方針の下、移乗支援ロボットや見守りセンサーなどの介護機器を積極的に活用することで職員の負担軽減を図るとともに、新しい紙おむつを採用して排泄介助の時間や頻度を見直すなどの業務の簡素化を進めることで、ご入居者に対応する時間を確保するように努めました。また、外国人技能実習生の受入れをきっかけに職員教育の体制を見直したことで、チームの職員間のコミュニケーションが向上しました。経験の差に関係なく多くの職員が新人の教育に関わるようになったことで介護現場の雰囲気も良くなっています。反面、令和6年度は介護事故の発生件数が増加したことや、口腔衛生管理が標準サービスになったものの職員の口腔ケアに関する知識や技術が不十分で、期待されるような成果が上がっていないことは反省点として挙げられます。こうした点については来年度に向けての課題として取り上げ改善していきたいと感じています。

在宅サービスでは、ショートステイは昨年度と比較してやや稼働率を落としましたが、コロナの影響があったことを考慮すると、まずまずの実績と言えます。デイサービスも同様に昨年度よりも若干稼働率を落としていますが、1年間というスパンの中では平均して稼働率を維持できたように思います。デイサービス新聞や利用状況報告書の内容を各事業所から評価していただいていることや、地域の高齢者サロンへの出張デイサービスが好評で喜んでいただけていることは良かったと思います。コロナについても感染症対策によりデイサービスでは集団感染となることはく少数の感染で終息することができました。いずれのサービスにおいても、レスパイト機能だけでなくご利用者に喜んでいただけるサービスを目指しつつ、身体機能の維持・向上のための機能訓練に取り組んでいるところです。

なお、平成14年竣工の西貝の郷は、一部で建物内に雨水の侵入が発生するようになっていましたので、吹抜等の外壁補修工事を実施しました。今後も、施設利用者に安心・安全に過ごしていただくことができるよう、建物や設備の適切な維持・管理及び老朽化した備品の更新などを計画的に行い、お客様に満足いただける質の良いサービスの提供に努めて参ります。

3 重点施策

1 介護保険制度改正への対応とサービス内容の見直し

- ① 看取り介護の質の向上に向けて内部研修や看取り介護の振り返りを行うカンファレンスを開催しました
- ② 令和 6 年度の介護報酬改定により新設された生産性向上推進体制加算(Ⅱ) 協力医療機関連携加算(1)などの加算算定を開始しました
- ③ 介護保険制度改正に伴う利用料金の変更について、説明と同意の取得を行いました
- ④ 緊急時の連絡体制の確認等、協力医療機関との連携を強化しました
- ⑤ 口腔衛生管理計画を策定し、口腔衛生管理業務を開始しました（特養）
- ⑥ 新L I F Eに移行し、介護データ等の提供、フィードバックの確認を行い、ケアに活用していきます
- ⑦ 特養に新しく移乗支援ロボットH u g を 2 台導入し、介助に活用しています

2 災害対策・感染症対策

- ① 事業継続計画（B C P）及び感染症対策のための研修とシミュレーション（訓練）を各 2 回実施しました
- ② B C P委員会において事業継続計画（B C P）の見直しを実施しました
- ③ 災害時の対応について西貝塚自治会長と意見交換を行いました

3 建物・設備・備品等の維持・管理

- ① 雨風や紫外線などの影響から建物を守り、施設の寿命を延ばすため吹抜及び光庭内側等の外壁補修工事を行いました
- ② 介護業務の効率化・情報共有のため新たなソフトの検討を行いましたが、従来の「ほのぼのN E X T」の使用権契約の 5 年更新を決定しました
- ③ 介護用ベッド、マットが老朽化したため、今期 20 台をパラマウントベッド社の最新機種に入れ替えました

4 各サービス及び部署等実績報告

1 特別養護老人ホーム・ショートステイ

(1)介護部

1. ご入居者の自立支援、Q O L向上を目指すとともに、L I F Eや眠りS C A Nなどのデータを活用することで科学的根拠に基づく介護の提供を心掛けました。アセスメントやモニタリングに基づいて排泄介助や離床臥床時間を見直すなど、ご入居者一人ひとりの生活に合わせた介護の提供に努めています。
2. 介護機器の積極的な活用を推進すると同時に、新たな介護機器の活用を検討することにより、ご入居者の安心感向上と職員の負担軽減を図りました。介護機器の活用にあたっては、生産性向上委員会において使用状況の確認や効果測定を行っています。介護機器の積極的な活用は、業務の効率化や介護事故防止にも役立っています。
3. ご入居者の口腔内を清潔に保ち健康維持を図るため、口腔衛生管理を標準サービスに組み入れました。口腔衛生管理の計画作成及びそれに基づくケアの実施、口腔衛生に関する技術的な職

員研修を開催するなどしていますが、職員の知識や技術がまだ十分でないこともあり成果が上がっているとは言えないため、今後も引き続き取り組んでいきます。

4. 人手不足、ご入居者の重度化、I C T化や生産性向上の流れで、個別ケアの考え方やケアの方法が変化してきています。職員が統一された考え方や方法でケアサービスが提供できるよう、マニュアルの整備に努めました。今年度は、入退所が非常に多く、ご入居者の心身の状態や生活歴等の情報の把握に時間と労力を要しました。

(2)看護部

1. 各看護職員はフロアーの担当を持ち、責任をもって業務にあたるとともに部署内で問題が発生したときは看護部全体で解決して報共有するため、定期的にミーティングを実施しました。
2. ご入居者の体調の変化、食事摂取量の低下や嚥下機能の低下時は、生活相談員とともにご家族様が理解しやすい言葉で説明や報告を行ったり、医師の診察を受けたときは、その内容等をその都度電話等で報告するなど、ご家族様との連携を心掛けました。
3. ご入所後の状態低下期におけるご入居者やご家族様の思い・希望を尊重し、その時その時の思いを傾聴しながらご本人やご家族の意向に沿った看取り介護の提供を心掛けました。今期は、医療を希望される方が多かったですが、食事が摂れなくなってきたときなどご家族様の思いを尊重して特養でできる範囲の医療を提供しつつ、ご希望に応じて生活相談員と連携のもと医療機関への転院の支援を行いました。

(3)生活相談部・介護支援専門員

1. 介護保険改正内容の把握を行い、看取りケアの質の向上や業務の効率化に取り組みました。
2. ご利用者様の状態の把握を行い、ご家族様と利用状況の共有できるように関りや相談等の連携を図りました。
3. ご利用者の満足いただけるサービスが提供できるように情報共有や多職種連携を行いました。各部署との中継ぎ役として円滑でできせつな連携を図りました。
4. 地域や他事業所、病院等との関りを作りつつ、広報活動（訪問・F A X・W E B）を行い稼働率向上、入居待機者の確保に結びました。

(4)事務部

1. B C Pに基づき、感染症や災害対策のための介護用品等の備蓄品の定期的な点検、補充を行うとともに、シミュレーション（訓練）を実施し職員へ周知を図りました。備蓄品は、種類や数量が増えてきたため、新たに防災倉庫を設置して整理整頓とメンテナンス等適切な管理に努めています。
2. 従来、紙ベースで保管していた書類をP D F化してデータ保存することにより、コピー用紙やプリンターのカウンター料を減らすことができ、印刷製本費の削減に繋がりました。また、書類保管の手間が減り、スペースも有効に活用できます。
3. 職員の就労時間を適切に管理し、残業の多い部署には残業を削減するよう働きかけるなど、残業時間の削減、職員の健康の維持・向上を図りました。
4. 次世代育成の一般行動計画に基づき、職員の育児・介護に関する相談への個別に対応、年次有給休暇の取得促進を働きかけました。業務上の問題等もあり残念ながら「くるみん認定」までには至りませんでした。引き続き働きやすい職場づくりに向けて仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

(5) 栄養管理部

1. 特養、ショートステイ、デイサービスとも、ご利用者の食事摂取量の向上に重点をおき、自立支援、重度化防止に努めました。ご利用者一人ひとりの情報収集に努め、ニーズに合った食事の提供ができたと思います。
2. ご入居者の心身の状態やニーズに合った食事の提供方法を考え、無理なく栄養補給できるように、食事内容や食事形態の変更等の提案を適切に行うよう努めました。看取り介護の方については、食事摂取が進まないことが多かったですが、食形態を提案し、安全に重点を置いた食事提供を心掛けました。
3. 災害対策について、食品のストックを増やすために非常用食料品の買い足しと真真空調理品を活用した災害時の献立作成を行いました。また、災害発生時の対応方法についてパートを含む厨房職員と話し合いを行い、停電時の対応等について細かく取り決めをして周知を行いました。
4. 給食施設においてコロナなどの感染症やノロウイルスその他の食中毒が発生しているため、厨房内で職員研修を行って意識の向上を図り、栄養士が厨房に入った際は、手袋の使い方、調理器具の使い方、なぜそれをしてはいけないか等の説明・指導を行い、感染症及び食中毒の発生・まん延の防止に努めました。

2 デイサービス

1. 新しいご利用者の獲得に向けて、ご利用者の要望に合わせたレクリエーションやリハビリ、体操などを取り入れ、アクティビティの充実に努めました。施設入所などで利用終了となるご利用者が多い1年でしたが、新しいご利用者も増えたことで稼働率は比較的堅調に推移し、好業績の前年並みの数字を維持することができました。
2. 紅葉見学、初詣などリハビリを兼ねた外出行事や、納涼祭、敬老会、運動会などの月行事を計画的に実施し、月刊デイや利用状況報告書で情報発信に努めました。
3. 職員間の情報共有・連携のための会議を定期的に実施したり、職員のスキルアップのために内外の研修に積極的にする計画でしたが、職員の入れ替わりやマンパワーの不足により思うように実施ができませんでした。次年度は業務を見直し改善していきます。
4. ご家族様とのより良い関係づくりや家族の支援のため、送迎時や諸連絡の際にご家族とのコミュニケーションに努め必要に応じて相談対応を行いました。また、地域の福祉ニーズの把握や地域との関係づくりに向けて、地域の高齢者サロンにおいて出張デイサービスを3回実施し、好評をいただきました。

1 職員数

令和7年3月31日現在

単位 (人)

			施設長	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員					看護職員			管理栄養士	事務員	機能訓練指導員	洗濯	運転手	合計	
							介護福祉士	実務者研修	初任者研修	ヘルパー二級	その他・無資格	計	看護師	准看護師							計
特別養護老人ホーム	常勤	男	1		1		10			3	13	1		1						16	
		女			1		11			4	15	3	1	4	1	2			23		
		計	1		2		21			7	28	4	1	5	1	2			39		
	非常勤	男	実人数		1		1													1	
			常勤換算		0.1			1.0												0.1	
		女	実人数					3		5	7	15	2		2			1	3	21	
			常勤換算					1.2		3.8	5.4	10.4	1.1		1.1			0.6	1.6	13.7	
		計	実人数		1			4		5	7	16	2		2			1	3	23	
			常勤換算		0.1			2.2		3.8	5.4	11.4	1.1		1.1			0.6	1.6	14.8	
	デイサービス	常勤	男																		
女					1		3				3								4		
計					1		3				3								4		
非常勤		男	実人数																2	2	
			常勤換算																1.0	1.0	
		女	実人数					2		1	3	6	2		2					8	
			常勤換算					1.5		0.6	3	5.1	1.8		1.8					6.9	
		計	実人数					2		1	3	6	2		2					2	10
			常勤換算					1.5		0.6	3.0	5.1	1.8		1.8					1.0	7.9
全体	実人数		1	1	3	0	30	0	6	17	53	8	1	9	1	2	1	3	2	76	
	常勤換算		1	0.1	3	0	27.7	0	4.4	15.4	47.5	6.9	1	7.9	1	2	0.6	1.6	1.0	65.7	

※兼務の職員は主たる職種に記載、休暇・休業中の職員及び派遣職員を除く。

2 職員の平均年齢・勤続年数・入退職の状況

令和7年3月31日現在

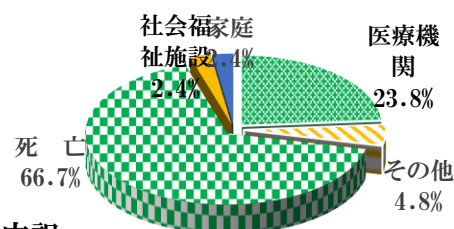
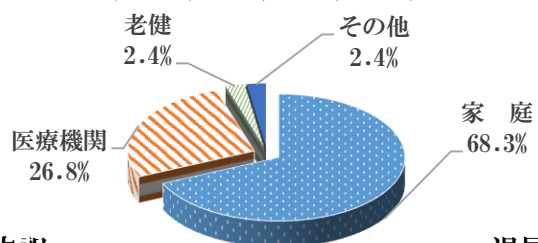
			平均年齢 (歳)			平均勤続年数 (年)			入職者 (人)			入職率	退職者 (人)			退職率
			介護職員	看護職員	その他	介護職員	看護職員	その他	介護職員	看護職員	その他		介護職員	看護職員	その他	
特養ホーム	常勤	男	38.7	55.0	50.0	11.0	0.3	21.3	1	1		13.3%				
		女	30.9	55.3	43.5	6.3	9.5	13.8	1			4.5%	7			31.8%
		計	34.5	55.2	45.7	8.4	7.7	16.3	2	1		8.1%	7			18.9%
	非常勤	男	28.0			5.0							2			66.7%
		女	51.8	59.5	72.0	4.9	8.7	11.3	7			58.3%	1		1	16.7%
		計	50.2	60.0	72.0	4.9	5.1	11.3	7			46.7%	3		1	26.7%
デイサービス	常勤	男														
		女	40.0			5.2										
		計	40.0			5.2										
	非常勤	男			73.5			7.3							1	33.3%
		女	53.0	45.5	55.0	5.3	14.0	1.0	4			40.0%	3			30.0%
		計	54.1	52.0	67.3	6.6	9.1	5.2	4			30.8%	2		1	23.1%

※入退職者数は令和6年4月1日～令和7年3月31日までの実績。その他の職種に医師は含まない。

1 特別養護老人ホーム入退居の状況

単位（人）

区分		新規入居者数						退居者数						月末在籍者数
		医療機関	社会福祉施設	家庭	老人保健施設	その他	計	医療機関	社会福祉施設	家庭	老人保健施設	死亡	その他	計
令和6年 4月	男			1			1							16
	女			1			1					1		64
	計			2			2					1		80
5月	男			1			1	1						16
	女			1			1	1				2		62
	計			2			2	2				2		78
6月	男			1			1	1				1		15
	女			3			3					2		63
	計			4			4	1				3		78
7月	男			1			1							16
	女			2			2					2		63
	計			3			3					2		79
8月	男	2					2							18
	女											1		62
	計	2					2					1		80
9月	男	1		1			2					1	1	18
	女											1		61
	計	1		1			2					2	1	79
10月	男	1					1							19
	女	1			1		2	1				3		59
	計	2			1		3	1				3		78
11月	男			1			1					3		17
	女	1		2			3	1		1				60
	計	1		3			4	1		1		3		77
12月	男			1			1	1				2	1	14
	女			4			4	1				3		60
	計			5			5	2				5	1	74
令和7年 1月	男			1		1	2							16
	女			2			2	1				1		60
	計			3		1	4	1				1		76
2月	男	2					2		1					17
	女			3			3	1				2		60
	計	2		3			5	1	1			2		77
3月	男			1			1	1						17
	女	3		1			4					3		61
	計	3		2			5	1				3		78
合計	男	6		9		1	16	4	1			7	2	14
	女	5		19	1		25	6		1		21		28
	計	11		28	1	1	41	10	1	1		28	2	42

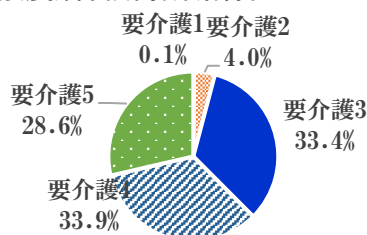


2 特別養護老人ホーム要介護度別サービス提供日数

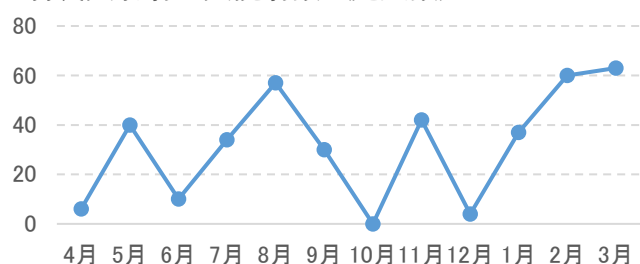
単位 (人)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均 介護度	入居率
令和6年 4月	男	0	30	180	125	120	455	3.85	98.7%
	女	30	90	540	684	570	1,914		
	計	30	120	720	809	690	2,369		
5月	男	0	31	140	145	155	471	3.90	96.7%
	女	7	93	575	662	589	1,926		
	計	7	124	715	807	744	2,397		
6月	男	0	30	134	145	150	459	3.89	96.8%
	女	0	90	579	656	538	1,863		
	計	0	120	713	801	688	2,322		
7月	男	0	31	156	124	155	466	3.83	95.0%
	女	0	93	641	661	496	1,891		
	計	0	124	797	785	651	2,357		
8月	男	0	31	186	160	155	532	3.83	97.1%
	女	0	93	663	593	527	1,876		
	計	0	124	849	753	682	2,408		
9月	男	0	30	159	164	180	533	3.87	97.8%
	女	0	90	629	556	540	1,815		
	計	0	120	788	720	720	2,348		
10月	男	0	31	186	182	186	585	3.86	97.1%
	女	0	93	614	600	515	1,822		
	計	0	124	800	782	701	2,407		
11月	男	0	30	180	190	159	559	3.89	95.2%
	女	0	43	572	630	480	1,725		
	計	0	73	752	820	639	2,284		
12月	男	0	31	164	171	95	461	3.87	94.4%
	女	0	31	624	709	515	1,879		
	計	0	62	788	880	610	2,340		
令和7年 1月	男	0	31	155	184	93	463	3.88	91.8%
	女	0	31	594	692	496	1,813		
	計	0	62	749	876	589	2,276		
2月	男	0	28	135	190	103	456	3.89	94.5%
	女	0	0	640	517	504	1,661		
	計	0	28	775	707	607	2,117		
3月	男	0	31	158	186	124	499	3.88	91.8%
	女	0	0	718	520	539	1,777		
	計	0	31	876	706	663	2,276		
合計	男	0	365	1,933	1,966	1,675	5,939	3.87	95.6%
	女	37	747	7,389	7,480	6,309	21,962		
	計	37	1,112	9,322	9,446	7,984	27,901		

要介護度別利用者数割合



特養入居者の入院者数 (延人数)



3 特別養護老人ホーム入居者の入院者数

単位 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	3	3	4	3	1	3	2	1	3	5	4	25
延人数	6	40	10	34	57	30	0	42	4	37	60	63	383

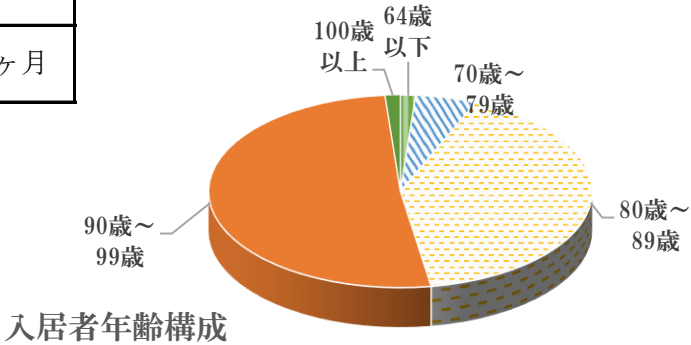
※入・退院日を除く

4 特別養護老人ホーム 年齢、性及び入所期間別入居者数

令和7年3月31日現在
単位（人）

区分		入居期間								合計
		6ヶ月未満	6月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上9年未満	9年以上11年未満	11年以上	
64歳以下	男	1								1
	女									
	計	1								1
65歳～69歳	男									
	女									
	計									
70歳～79歳	男									
	女			1	1	1			1	4
	計			1	1	1			1	4
80歳～89歳	男	6	2	2	1				2	13
	女	7	2	4	4	1	1			19
	計	13	4	6	5	1	1		2	32
90歳～99歳	男				1		1	1		3
	女	9	3	10	6	4	2	1	2	37
	計	9	3	10	7	4	3	2	2	40
100歳以上	男									
	女			1						1
	計			1						1
合計	男	7	2	2	2		1	1	2	17
	女	16	5	16	11	6	3	1	3	61
	計	23	7	18	13	6	4	2	5	78

平均年齢	男性	84歳10ヶ月	全体	89歳6ヶ月
	女性	90歳9ヶ月		
平均入所期間	男性	3年6ヶ月	全体	3年1ヶ月
	女性	2年11ヶ月		



5 特別養護老人ホーム入居者の介護保険利用者負担段階

令和7年3月31日現在
単位（人）

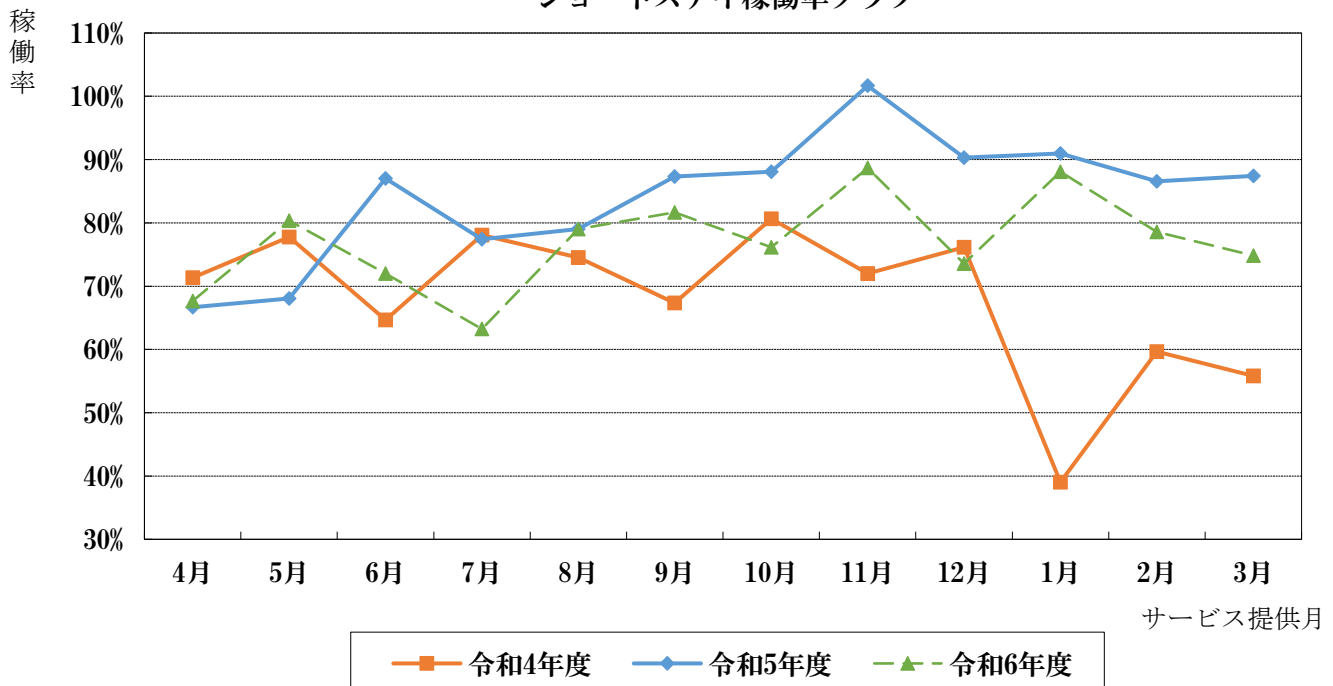
	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計
要介護1	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	1	0	1
要介護3	0	5	4	6	15	30
要介護4	0	7	2	3	13	25
要介護5	0	5	5	5	7	22
計	0	17	11	15	35	78

ショートステイ 要介護度別延利用者数

単位（人）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数（日）			30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
定員数（人）			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
利用者数	要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	0	12
		計	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	0	12
	要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	男	2	4	0	0	11	3	5	3	8	6	0	4	46
		女	47	67	70	53	60	52	62	65	45	60	51	58	690
		計	49	71	70	53	71	55	67	68	53	66	51	62	736
	要介護2	男	0	7	8	13	34	22	25	0	0	11	0	0	120
		女	52	68	34	37	44	37	38	45	33	22	26	39	475
		計	52	75	42	50	78	59	63	45	33	33	26	39	595
	要介護3	男	19	14	13	0	31	37	12	22	0	5	3	3	159
		女	44	44	25	48	28	37	42	68	61	89	83	62	631
		計	63	58	38	48	59	74	54	90	61	94	86	65	790
	要介護4	男	28	36	26	15	19	36	16	19	17	42	22	35	311
		女	11	9	40	30	18	18	33	33	33	31	28	31	315
		計	39	45	66	45	37	54	49	52	50	73	50	66	626
	要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	7	0	18
		女	0	0	0	0	0	0	0	8	24	0	0	0	32
		計	0	0	0	0	0	0	0	8	28	7	7	0	50
	合計	男	49	61	47	28	95	98	58	44	29	71	32	42	654
		女	154	188	169	168	150	147	178	222	199	202	188	190	2,155
		計	203	249	216	196	245	245	236	266	228	273	220	232	2,809
平均利用者数（人）			6.8	8.0	7.2	6.3	7.9	8.2	7.6	8.9	7.4	8.8	7.9	7.5	7.7
稼働率（％）			67.7	80.3	72.0	63.2	79.0	81.7	76.1	88.7	73.5	88.1	78.6	74.8	77.0
前年比（％）			101.5	118.0	82.8	81.7	100.0	93.5	86.4	87.2	81.4	96.8	87.6	85.6	91.2

ショートステイ稼働率グラフ

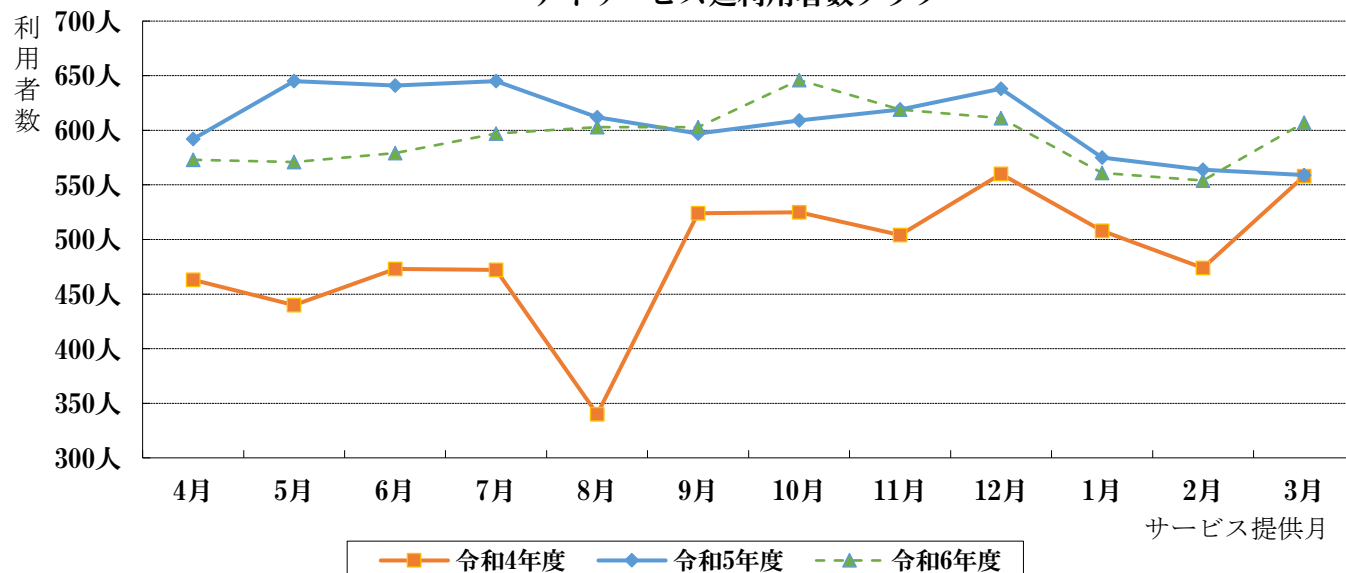


デイサービス 要介護度別延利用者数

単位（人）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日営業日数(日)			21	22	20	22	21	20	22	20	21	19	18	20	246
平日定員数 (人)			40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
土曜営業日数(日)			4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	51
土曜定員数 (人)			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
利用者数	事業対象者	男	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	3	4	49
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	3	4	49
	要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		女	4	5	4	1	0	0	0	0	0	0	3	2	19
		計	4	5	4	1	0	0	0	0	0	0	3	4	21
	要支援2	男	9	9	8	9	9	8	9	9	3	0	0	3	76
		女	23	17	16	8	8	7	7	8	8	8	8	8	126
		計	32	26	24	17	17	15	16	17	11	8	8	11	202
	要介護1	男	52	51	54	52	51	47	39	41	20	17	19	19	462
		女	141	131	121	102	96	111	114	119	102	87	78	66	1,268
		計	193	182	175	154	147	158	153	160	122	104	97	85	1,730
	要介護2	男	11	2	8	7	9	16	6	7	18	28	29	34	175
		女	154	181	184	223	246	212	241	233	220	200	195	213	2,502
		計	165	183	192	230	255	228	247	240	238	228	224	247	2,677
	要介護3	男	18	17	22	24	22	24	40	37	48	46	44	44	386
		女	39	35	45	55	50	38	38	22	38	36	35	63	494
		計	57	52	67	79	72	62	78	59	86	82	79	107	880
	要介護4	男	31	30	31	28	27	55	64	60	63	67	65	46	567
		女	55	60	56	60	50	55	53	52	60	52	58	73	684
		計	86	90	87	88	77	110	117	112	123	119	123	119	1,251
	要介護5	男	8	10	12	11	6	14	16	15	14	7	7	8	128
		女	24	18	14	13	25	12	14	12	13	9	10	22	186
		計	32	28	26	24	31	26	30	27	27	16	17	30	314
	合計	男	133	124	139	135	128	168	179	173	170	169	167	160	1,845
		女	440	447	440	462	475	435	467	446	441	392	387	447	5,279
		計	573	571	579	597	603	603	646	619	611	561	554	607	7,124
稼働率 (%)			62.3	59.5	64.3	62.2	64.1	68.5	67.3	70.3	66.4	66.8	69.3	71.4	65.6
前年比 (%)			96.8	88.5	90.3	92.6	98.5	101.0	106.1	100.0	95.8	97.6	98.2	108.6	97.6

デイサービス延利用者数グラフ



1 事故件数

（単位：件）

	転倒・転落	誤嚥	異食	誤薬	車輛事故	その他	合計
特別養護老人ホーム	6	1				5	12
ショートステイ							0
デイサービス	1					1	2

※保険者への報告を行った介護事故の発生件数を記載しています。

2 寄せられたご意見・苦情

受付日	区分	申出人	内容	対応
R6. 4. 16	特別養護老人ホーム	入居者本人	歯を治して外へお肉を食べに行きたいが、職員に「義歯を直しても肉はかみ切れない」と言われた。「思っているでもないという事は言わないで欲しい。」と入居者様より。	その場にいた職員より入居者様に謝罪し、対応した職員には言動を改める様注意しました。
R6. 4. 24	特別養護老人ホーム	入居者家族	扇風機をもっていった際、入居者様が「差し入れしてくれたプリンやヨーグルトを毎日食べたいのに、職員にだめだと言われ食べさせてもらえなかった。若い女の職員は私に対する扱いが雑。ベッドに移動するときなど体が痛い。肩を打つ事がある。寒いから毛布を掛けてと言ったら、顔まで被せられて、手を動かさないからずらすことも出来なかった」と言っていた。それで汗をかいて扇風機が欲しいという話になったのではないかとご家族様より。	職員より入居者様に再度確認し、謝罪とご意向を伺った。今後はご意向に沿った介助方法を検討します。
R6. 5. 7	特別養護老人ホーム	入居者家族	先日面会に行った際に職員から「また来た。」と言われたことがあって一瞬カチンときた。誰とは言わないが伝えたいと思う。とご家族様より	不適切な対応や不快な思いされたことに謝罪しました。
R6. 6. 12	ショートステイ	利用者ご家族	ショート利用中に衣類を着替えた形跡がないが、着替えをしてくれているのだろうか？ 着替えは職員が確認してくれているのだろうか？とご家族様より。	着替えは職員が付き添って行っていますが、ご家族様より衣類の洗濯はしないでほしいという要望があったにも関わらず、洗濯をしてその衣類を着て頂いていた事について併せて謝罪いたしました。
R6. 6. 25	特別養護老人ホーム	入居者ご家族	面会に行った際、「トイレのセンサーが流れないように意地悪をされている。」と本人が泣きじゃくって言っていたが、どうなのでしょうかとご家族様より。	センサーを使用すると、排便の確認が行えず、便秘の際の介入ができなくなるため、職員が排便の確認をした後に流す対応をとっている事をご説明しました。

受付日	区分	申出人	内容	対応
R6. 8. 23	特別養護老人ホーム	入居者ご家族	いつも面会に行くと言っている。他の方は起こしてもらって水分を提供してもらっているのを見かけるが、本人は水分をしっかりと提供してもらえているのか？とご家族様より。	カンファレンスを実施し、各部署よりご家族様に入居者様の状態を報告いたしました。
R6. 9. 10	特別養護老人ホーム	入居者本人	職員がシーツ交換の時に掃除機をかけなかったり、タオル等を洗濯に出してくれなかったため、注意すると「そんな事を言われる筋合いはない」と言われた。と入居者様より。	入居者様には謝罪し当該職員には指導を行いました。
R6. 9. 17	ショートステイ	入居者ご家族	ショートステイを利用しましたが、帰ってくると、両腕に内出血がありました。どこかにぶつけたのでしょうか？ショートステイの様子も気になるので教えて下さい。とご家族様より	ご家族様に電話連絡し、利用中のご様子を連絡しなかった事を謝罪しました。連絡体制について、ショートステイの連絡帳の活用方法など再確認しました。
R6. 9. 18	特別養護老人ホーム	入居者ご家族	家族が面会に行った際、入居者本人より「家族が点滴をしなくていいと言ったんでしょ？」と言われた。本人は看護師から聞いたと言っているが、本人にどういう経緯でそのような事をいったか教えてほしい。とご家族様より。	看護師より、点滴の話は直接本人にはしておらず、居室の扉前で他職員と話をしたため、それが聞こえてしまったかもしれないとご家族に説明しました。
R6. 9. 19	特別養護老人ホーム	入居者ご家族	昨日の看護師の説明は納得がいかない。本人に直接点滴の事を言っていないからいいみたいになっていたが、そうではないと思う。本人に不安を与えているという事を看護師は、把握しているんですか？さらっと説明だけして謝罪する感じでもないから、注意してほしい。とご家族様より。	改めて謝罪するとともに同じ事がおきないように、施設全体で今回の問題を考えていく事をお伝えしました。
R6. 6. 10	ショートステイ	利用者ご家族	ショートステイ利用中に熱がでたと連絡をいただいたが、帰ってきて連絡帳を確認すると、その記載がなくて気になった。利用中の体調変化や経過を記録し教えてほしい。とご家族様より。	連絡帳への記入漏れを謝罪し、連絡帳の記入方法など漏れがないように対策をとっていくこととしました。
R6. 10. 6	特別養護老人ホーム		「看護師に浣腸液をいれてもらって、そのあとにエアコンをつけた状態でタオルケットも何もかけてくれなかった。2回呼んでしばらくたった後に別件で部屋に来てくれた。俺のこの状態（布団がかかっている状態）を見ればかけてくれるかと思ったから何も言わなかったけどかけてくれなかった」とお客様より。	ご本人に謝罪し、対応した職員には対応方法等について指導を行いました。

受付日	区分	申出人	内容	対応
R6. 10. 22	特別養護老人ホーム	入居者 ご家族	面会后、相談員にご家族様より①面会時ベッドに肌着で寝ている事が多く、ズボンも下がり臀部が見えている状態のこともある。このままで食堂に行っているのか心配になった。職員にも伝えたが本人様の意向に合わせているということであった。本人の意向もわかるが、本人もわからなくなっているので居室内では上着を着て過ごすようもう少し言って、整えてあげてほしい。 ②面会に行った際、居室に戻りベッドで寝ており車いすに尿を入れるブルーバックが掛けたままであった。本人も「忘れちゃった。」と話しており、抜ける原因になるので忘れちゃったじゃすまないと思うので、部屋に戻った後は、もう少し見てほしい、とご家族様より。	①について、今後はご本人様の意思を尊重した上で季節や気温に合わせた声掛け、促しを行っていくこととお伝えした。 ②居室に戻られた際の対応について、対応が遅れていたことを謝罪した。ご本人様が居室に向かわれた際は、臥床後のブルーバックの所在確認を行うようユニットでも注意していくこととお伝えした。
R6. 11. 13	デイサービス	利用者 本人	来所時、上靴がなくショートステイのお客様が履いていた。ほかの人が自分の靴を間違えて履いていたのはあまり気持ちのいいものではない、と利用者様より。	ショートステイで対応をした職員が勘違いして別の方の靴を履かせてしまっていました。謝罪し「大丈夫です」とお言葉をいただいた。
R6. 11. 26	ショートステイ	利用者 ご家族	利用者本人がある男性の職員に対して、「車椅子を勢いよく押され怖い、口止めをされた、腕や頭をツンツンされた」など言っているので担当を変えてもらうことは出来ないかとご家族様より。	お話しいただいた内容を調査したが乱暴に介護するといった行為はなく、認知症からくる被害妄想が原因と思われます。家族様には利用中の状況や認知症の症状を説明しご理解いただきました。
R7. 3. 1	特別養護老人ホーム	入居者 ご家族	入居者様が居室で過ごす際の服装について、ご家族様から要望がありました。	担当者会議を開き、検討することとしました。
R7. 3. 17	ショートステイ	ケアマネ	利用者が薬をご飯に混ぜられたと言っている。 また、ケアマネが本人の居宅へ訪問した際、ショートステイ利用の荷物に、別の方のお薬情報と袋が入っていて西貝の郷に返却していただいた。「この事もあり、違う薬が混ざっていたのではないか、と不安もあったのではないか、と。	薬については、粉薬はオブラートに包み内服、錠剤はそのまま飲まれていることを確認し報告しました。最近、ショートステイで提供しているご飯に麦を混ぜていることがあり、他の利用者様が「お腹にいい。お通じが良くなる。」等話していたことが誤解に繋がったのではないかと。お薬情報の入れ間違いについては謝罪しました。

3 ご寄附

日付	寄附者氏名	寄附内容	目的	区分
R6. 4. 10	厚生労働省産情課	N95マスク6,770枚	利用者のため	特別養護老人ホーム
R6. 7. 8	石井 優治	100,000円	利用者のため	特別養護老人ホーム
R6. 9. 4	JA遠州中央農協	新米10kg	利用者のため	特別養護老人ホーム

※敬称略

4 行事等（施設入所）

名称	開催日	参加者	備考
お花見散歩	R6. 4. 8, 9	若草ユニット	
手浴・足浴	R6. 4. 12他5日	青空ユニット	
味噌汁づくり	R6. 4. 13	草原ユニット	
お散歩	R6. 4. 13	花時・陽だまりユニット	
府八幡宮 参拝	R6. 4. 19	花時ユニット	
福田・豊浜・浅羽ドライブ	R6. 4. 21	陽だまりユニット	
つつじ公園 散策	R6. 4. 21	若草ユニット	
磐田駅他 ドライブ	R6. 5. 8	青空・草原ユニット	
アピタ磐田店散策 ドライブ	R6. 5. 9	花時ユニット	
手浴・足浴	R6. 5. 13他5日	青空ユニット	
お散歩	R6. 5. 17	若草ユニット	
ピアゴ袋井 ドライブ	R6. 5. 18	花時ユニット	
渚の交流館 ドライブ	R6. 5. 19	若草ユニット	
ボール転がしサッカー	R6. 5. 20	ショートステイ	
お散歩	R6. 5. 21	青空ユニット	
お散歩	R6. 5. 21	草原ユニット	
買い物	R6. 5. 21	若草ユニット	イオンタウン磐田
お散歩	R6. 5. 25	青空ユニット	
味噌汁づくり	R6. 5. 25	草原ユニット	
手浴・足浴	R6. 6. 3他3日	青空ユニット	
味噌汁づくり	R6. 6. 16	草原ユニット	
旧見付学校等 ドライブ	R6. 6. 23	若草ユニット	
風鈴作り	R6. 6. 26	そよ風・若草ユニット	
お散歩と買い物	R6. 6. 29	青空・草原ユニット	
ボール遊び	R6. 7. 6	草原ユニット	
七夕祭り	R6. 7. 7	青空ユニット	
手浴・足浴	R6. 7. 2他3日	青空ユニット	
味噌汁づくり	R6. 7. 13	草原ユニット	
見付天神 参拝	R6. 7. 21	若草ユニット	
見付天神 参拝	R6. 7. 21	そよ風ユニット	
かき氷	R6. 7. 28	青空ユニット	
ボール遊び	R6. 8. 15	草原ユニット	
ひなたぼっこ	R6. 8. 21	青空ユニット	
パンケーキ・かき氷	R6. 8. 21	若草ユニット	
味噌汁づくり	R6. 8. 24	草原ユニット	
手浴・足浴	R6. 9. 7他3日	青空ユニット	
令和6年度敬老会・秋祭り	R6. 9. 15	全体	

名称	開催日	参加者	備考
ボール遊び	R6. 9. 25	青空ユニット	
福田港 ドライブ	R6. 9. 29	若草ユニット	
楽器演奏	R6. 10. 2	3階	ボランラティア 音の会様
手浴・足浴	R6. 10. 11, 29	青空ユニット	
季節の塗り絵	R6. 10. 12	草原ユニット	
府八幡宮 参拝	R6. 10. 19	若草ユニット	
味噌汁づくり	R6. 10. 20	草原ユニット	
季節の塗り絵	R6. 11. 13	草原ユニット	
ボール遊び	R6. 11. 13	草原ユニット	
お散歩	R6. 11. 13	若草ユニット	
お散歩	R6. 11. 19	若草ユニット	
手浴・足浴	R6. 11. 14他4日	青空ユニット	
新年会	R7. 1. 8	全体	風船バレー・福笑い
小國神社 初詣	R7. 1. 29	若草ユニット	
お散歩	R7. 1. 20	若草ユニット	
新年の抱負を書く	R7. 1. 16	青空ユニット	
府八幡宮 初詣	R7. 2. 7	そよ風ユニット	
アコーディオン演奏会	R7. 2. 8	全体	ボランラティア八木様
イオンタウン 買い物	R7. 2. 14	若草ユニット	
手浴・足浴	R7. 2. 28他4日	青空ユニット	
味噌汁づくり	R7. 2. 24	草原ユニット	
府八幡宮 初詣	R7. 3. 1	花時・陽だまりユニット	

1 内部研修

名称	開催日等
令和6年度 法人合同新任職員研修	令和6年4月1日・2日
令和6年度 施設新任職員研修	令和6年4月3日～7日
新規採用職員採用時研修(感染, 拘束, BCP, 事故, 虐待等)	採用日から1年以内
令和6年度 接遇研修	令和6年4月
令和6年度 コンプライアンス・職業倫理研修	令和6年5月
令和6年度 第1回感染症対策研修	令和6年5月
令和6年度 看護職員研修	令和6年5月14日
令和6年度 デイサービス入浴介助研修	令和6年5月16日
令和6年度 認知症ケア研修①	令和6年5月21日
令和6年度 第1回身体拘束適正化研修	令和6年6月
令和6年度 研究発表会 青空ユニット	令和6年7月18日
令和6年度 ユニットリーダー研修	令和6年7月23日
令和6年度 おむつ・パッド研修	令和6年7月24日
令和6年度 第1回虐待防止研修	令和6年8月
令和6年度 第1回看取り介護研修	令和6年8月8日
令和6年度 第1回BCP研修	令和6年8月8日
令和6年度 第1回感染対策シミュレーション(訓練)	令和6年10月
令和6年度 認知症ケア研修②	令和6年8月
令和6年度 第1回事故防止研修	令和6年8月
令和6年度 第1回BCPシミュレーション(訓練)	令和5年9月2日
令和6年度 研究発表会 春風ユニット	令和6年9月19日
令和6年度 研究発表会 若草ユニット	令和6年9月19日
令和6年度 第2回BCPシミュレーション(訓練)	令和5年9月26日
令和6年度 認知症ケア研修③	令和6年10月
令和6年度 第1回褥瘡対策研修	令和6年10月
令和6年度 リーダー研修	令和6年10月22日
令和6年度 第2回感染症対策研修	令和6年11月
令和6年度 第2回看取り介護研修	令和6年11月
令和6年度 研究発表会 花時ユニット	令和6年11月21日
令和6年度 研究発表会 そよ風ユニット	令和6年11月21日
令和6年度 第2回身体拘束適正化研修	令和6年12月
令和6年度 第2回感染対策シミュレーション(訓練)	令和7年1月
令和6年度 認知症ケア研修④	令和7年1月
令和6年度 第2回BCP研修	令和7年1月9日
令和6年度 第2回事故防止研修	令和7年2月
令和6年度 第2回虐待防止研修	令和7年3月
令和6年度 第2回褥瘡対策研修	令和7年3月
令和6年度 研究発表会 草原ユニット	令和7年3月18日
令和6年度 初任者フォローアップ研修	令和7年3月25日

2 外部研修

名称	開催日	出席者	主催者
2024年以降の労働関係の帆改正及び一本化される処遇改善加算の概要	R6. 5. 27	1名	静岡県老施協
令和6年度 身体拘束は廃止できます	R6. 9. 2, 3	1名	静岡県社協
令和6年度 コーチング研修	R6. 5. 21	3名	静岡県社協
介護現場における生産性向上を通じた働きやすい職場環境作り	R6. 7. 30	1名	静岡県老施協西部支部
令和6年度 中東遠地区特養職種別研究会(医務)	R6. 7. 24	1名	梅香の里
第7回「いわたナース交流会」	R6. 8. 3	3名	静岡看護協会
令和6年度 中東遠地区特養職種別研究会(事務)	R6. 8. 27	1名	中泉の里
令和6年度 中東遠地区特養職種別研究会(介護)	R6. 9. 24	1名	かけがわ苑
令和6年度 福祉・介護職員向け感染症対策研修 管理者向け研修	R6. 9. 30	1名	静岡県
しずおか新人職員向け交流研修会	R6. 9. 12	1名	静岡県
科学的介護情報システム(LIFE)第1回説明会	R6. 9. 12	1名	厚生労働省
技能実習制度関係者養成講習	R6. 10. 9	1名	全基連
技能実習制度関係者養成講習	R6. 10. 22	1名	全基連
技能実習指導員講習	R6. 9. 26	3名	全基連
令和6年度 中東遠地区特養職種別研究会(中間管理職)	R7. 2. 6	1名	灯光園
第13回静岡県高齢者福祉研究大会	R6. 9. 5	5名	静岡県老施協
新人職員研修会	R6. 8. 5	2名	静岡県老施協
静岡県老施協西部支部職員研修会	R7. 2. 14	1名	静岡県老施協西部支部
科学的介護情報システム(LIFE)第2回説明会	R7. 3. 13	1名	厚生労働省
高齢者施設のハラスメント対策	R7. 3. 21	1名	静岡県老施協
2024年度 静岡県在宅褥瘡セミナー	R7. 3. 22	1名	日本褥瘡学会
デジタル中核人材養成研修	R6. 12. 6	1名	厚生労働省
デジタル中核人材養成研修	R7. 1. 16	1名	厚生労働省
デジタル中核人材養成研修	R7. 2. 21	1名	厚生労働省

11 会議・防災関係

1 主な委員会・定例会議

名称	開催実績
事故防止委員会	(定期)6/13, 9/11, 12/12, 3/14 (臨時)5/2, 7/4, 7/31, 8/7, 11/14, 1/29
身体拘束適正化委員会	5/2, 8/8, 11/14, 2/13
褥瘡予防委員会	6/13, 9/11, 12/12, 3/14
感染対策委員会	(定期)4/4, 8/8, 10/10, 1/9 (随時) 4/11, 5/2, 7/6, 7/9, 11/28, 12/2, 12/6, 12/11, 12/19, 12/24, 12/31, 1/5
安全衛生委員会	毎月第2木曜日開催
B C P委員会	5/2, 8/8, 10/10, 1/11
虐待・ハラスメント防止委員会	5/2, 8/8, 10/10, 1/11
優先入所検討会	
栄養ケアマネジメント会議	毎月第2木曜日開催
職員会議	毎月第2木曜日開催
介護サービスの自己評価	令和7年3月実施

2 防災訓練

名称	実施日	参加者	備考
デイサービス防災訓練	R6. 4. 24	職員9名, 利用者21名	
通報訓練	R6. 5. 23	職員8名	
消火器使用訓練	R6. 6. 27	職員10名	
地震防災訓練	R6. 7. 25	職員14名	
災害時情報共有システム使用訓練	R6. 8. 19	職員1名	
情報収集伝達訓練	R6. 8. 22	職員7名	
地震防災訓練	R6. 9. 2	職員7名	
総合防災訓練（夜間想定）	R6. 11. 1	職員14名, 利用者20名	
防災教育	R6. 12. 26	職員20名	
消火栓使用訓練	R7. 1. 30	職員11名	
防災教育	R7. 2. 27	職員21名	

12 地域交流

1 介護実習・体験学習の受入

団体名等	人数	受入日（期間）
静岡県立磐田北高等学校3年生	2名	R6. 6. 17～R6. 7. 17
静岡県立磐田北高等学校1年生	4名	R6. 7. 4～R6. 7. 12 デイサービス
東海文化専門学校3年生	1名	R6. 7. 22～R6. 7. 26
磐田市立城山中学校 教員	1名	R6. 8. 6～R6. 8. 7
磐田市立南部中学校3年生	8名	R6. 9. 25 デイサービス
磐田市立城山中学校2年生	4名	R6. 10. 17 デイサービス

2 ボランティアの受入

団体名等	活動内容	活動日	備考
音の会（代表長谷川志げ子様）	楽器演奏・合唱	R6. 10. 2	
八木 純孝 様	アコーディオン演奏	R6. 2. 4	
M6	ギター演奏・歌	R7. 3. 28	